

令和5年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅲ 【 職員の指導力強化 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
○当校の職員は日本農業実践学園や鯉淵学園農業栄養専門学校等の民間校と違い、行政機関や研究機関や農業関連高校から転入した職員が栽培指導、ほ場管理、学生指導を行っている。	○行政機関や研究機関から転入した職員が、学生指導などに苦慮しないよう、教育方法などを学ぶ機会を確保する。 ○農業関連高校から転入した職員が、最先端の技術や現場の状況などに触れ、栽培技術のスキルアップを図るための機会を設ける。	職員の資質向上機会の確保 職員研修参加回数 2回以上/人

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等
職員の資質向上機会の確保

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント [全般]	達成度の評価基準	
職員研修参加回数 2回以上/人 【R4実績：1.6回/人】	A	各種研修会への参加を誘導した結果、一人当たり 3.4 回の研修に参加し、目標達成率は100%である。 なお、職員の指導能力向上研修会開催により、悩みを持つ学生への対応などを学ぶことができたが、行政機関や研究機関から転入した職員が、学生指導などに苦慮しないよう、教育方法などを学ぶ機会を設けることはできなかった。	研修参加回数は目標を上回ったが、今後は、研修効果の質的变化の評価方法を工夫するとともに、学生に寄り添った指導力をさらに高められるよう研鑽してほしい。 達成度の評価基準と照らし、A評価は適当である。	A	100%達成
				B	80～99%の達成
				C	60～79%の達成
				D	40～59%の達成
				E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】学生に対応する指導能力向上研修への参加 ・関東ブロック農業教育施設協議会各担当者研修会、全国農業大学校協議会教育研究会等への参加を誘導する 2人以上 【R4実績：1人】	ア 学生に対応する指導能力向上研修への参加 【取組実績】 ・全国農業大学校協議会の主催する教育研究会に参加し、各校のスマート農業や有機農業、GAPの推進、輸出に関する教育内容について情報交換し、農業技術・農業経営の高度化に対応した取り組みについて研究討議を行った（9/28）。 研究会出席 1人（園芸部） ・関東ブロック農業教育施設協議会が主催する学校運営に関する担当者研修会に参加し、農業者教育に初めて携わる職員の育成およびスキルアップのために各校で取り組んでいる教育や実施している研修等について情報交換を行い、教職員に必要となるスキルやそれを育成するための体制について検討した（12/7）。また、教科別研修会では、県で推進している有機農業に関する各校の取り組みについて情報交換した（12/19）。 研修会出席 5人（農業部 4人、園芸部 1人） 【成果】 ・積極的に参加誘導を行った結果、延べ6人の職員が研修会へ出席し指導能力向上の機会を確保することができた。	ア 学生に対応する指導能力向上研修への参加 ・引き続き、関東ブロック農業教育施設協議会が主催する学校運営に関する担当者研修会に参加し、積極的に他校の優良な取り組みを学び当校の学生指導に役立てていく。	・普及指導員だった職員が大学校に異動して初めて教育に携わる例が多いようであるが、研修等によりカウンセリング力を高めることも必要である。 ・課題によっては、広域ブロックの研修会に参加するだけでなく、専門家を招へいして、大学校内で研修を行うことも必要である。

<p>イ【継続】農業技術能力向上研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県主催専門研修、各種研究会主催研修、農作業安全・大型特殊免許取得研修などの研修に参加する。 1回以上/人 【R4実績：0.9回/人】 <p>ウ【拡充】研修会の開催、他校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の抱えている課題を解決するための自主企画の研修会を開催する。 学生指導経験のない職員向けの学生指導研修 1回 【R4実績：0回】 ・県内農業専門学校と連携し、他校の学生指導や栽培技術に関する職員向け研修会に参加する。 1回以上 【R4実績：0回】 	<p>イ 農業技術能力向上研修への参加</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が主催する専門能力研修や各種団体が主催する研修会・品評会などに参加し、農業技術に関する知識や技能の向上を図ったほか、刈払い機、大型特殊車両免許取得の講習会に参加した。 延べ33回（農業部1.8回/人、園芸部2.7回/人） うち農業高校からの教員参加 農業部5回/2名 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が農業機械を使用した実習指導に対応できる資格や技能を獲得した。 <p>ウ 研修会の開催、他校との連携</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの相談が増加する中、学生指導経験のない職員が苦慮しているため、こころとからだのバランスに配慮した学生対応が行えるよう、専門家を招いた研修会を実施し、9名の職員が参加した(3/4)。また、県内農業専門学校からの参加を募り3名が参加した。 ・その他、救命講習を開催し16名の職員が参加した。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生指導経験のない職員が学校で学生に対応する際に必要な新たな知識と心構えを身に着けることができた。 	<p>イ 農業技術能力向上研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も引き続き各種研修等への職員参加を呼びかけ、職員が学生指導に役立つ技能を確保できるよう努めていく。 <p>ウ 研修会の開催、他校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の教育・指導に慣れていない職員のために学生に対する注意や指導の方法についての研修を年度当初に実施し、職員が通勤後間もないうちに学生指導の心構えを学べるようにする。 ・今後も共通課題について県内農業専門学校と連携した取り組みを進める。 ・職員の抱えている課題や特別な対応が必要な学生についての情報交換を月1回の定例会議の機会を活用して随時実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みをかかえた学生が先生と気軽に話せるような居場所を確保しておくようにするとよい。 ・学生が失敗したときに、職員が適切なフォローができるカウンセリングの技術が必要である。
--	--	---	---